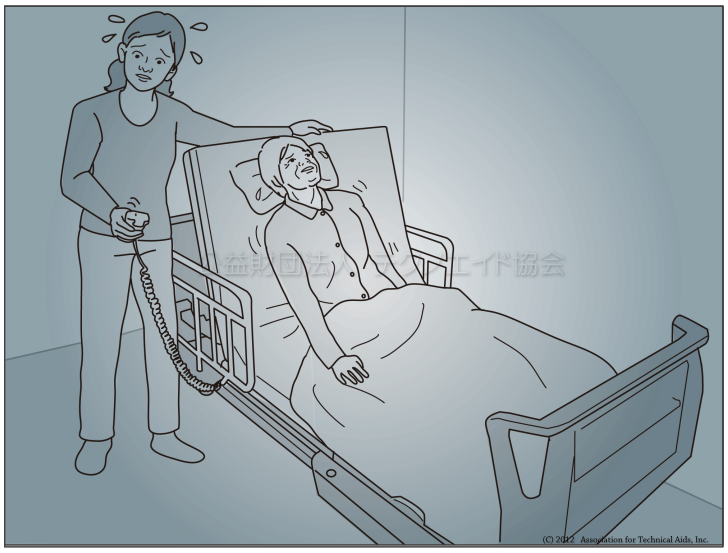
Case：186

停電した時の対応がわからず、バランスを崩しそうになる

場面の説明

背上げをした状態で停電になってしまったが、緊急対応の方法がわからずあわてているうちに、利用者の身体が崩れだした



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ベッドの背を上げている状態で停電したため、背を下げることができず、徐々に体幹が崩れて転落しそうになった事例です。停電時の対応方法は製造者によって違います。日ごろから取扱説明書を把握するなど、万一の時にあわてない準備をしておくことが大切でしょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：介助者が停電時の対応を理解していなかった
人：関係者が停電時の対応を説明していなかった
モノ：停電時の対応ができないベッドだった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.